

トヨタの歩み

トヨタ自動車の創業者・豊田喜一郎は1894年(明治27年)に生まれました。織機の発明家である豊田佐吉の「研究と創造」の精神を受け継いだ息子の喜一郎は、当時の日本では未知の分野であった自動車づくりに生涯をかけました。苦心の末、1935年にA1型試作乗用車を完成、トヨタの自動車生産の第一歩をしるしました。

1930年代	
1933年(昭和8年)	(株)豊田自動織機製作所内で、自動車の研究を開始
1935年(昭和10年)	A1型試作乗用車完成。G1型トラックを発表
1936年(昭和11年)	AA型乗用車を発表
1937年(昭和12年)	トヨタ自動車工業(株)設立
1938年(昭和13年)	拳母工場(現、本社工場)で自動車の生産開始
1940年代	
1947年(昭和22年)	国内生産累計10万台達成
1950年代	
1950年(昭和25年)	トヨタ自動車販売(株)を設立し、販売業務を移管
1955年(昭和30年)	「トヨベツ・クラウン」発表
1957年(昭和32年)	国産乗用車対米輸出第1号(クラウン) 米国トヨタ自動車販売(株)設立
1960年代	
1961年(昭和36年)	「パブリカ」発表
1966年(昭和41年)	「カローラ」発表
1970年代	
1972年(昭和47年)	国内生産累計1000万台を達成
1973年(昭和48年)	米国にキャルティデザインリサーチ設立
1977年(昭和52年)	トヨタテクニカルセンターUSA(現TEMA*)設立
*TEMAは北米の研究開発・製造を統括	
1980年代	
1982年(昭和57年)	トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売が合併してトヨタ自動車(株)に
1984年(昭和59年)	米国でトヨタ・GM合併会社(NUMMI)生産開始
1987年(昭和62年)	欧州テクニカルセンター(現TME*)設立
1988年(昭和63年)	米国ケンタッキー工場(現TMMK)生産開始
1989年(平成元年)	北米に「レクサス」を導入
*TMEは欧州事業全体を統括	
1990年代	
1992年(平成4年)	米国にトヨタ・サプライヤー・サポート・センター設立 英国工場(TMUK)生産開始
1997年(平成9年)	ハイブリッド車「プリウス」発表
1999年(平成11年)	ニューヨークとロンドンの証券取引所に株式上場 国内生産累計1億台を達成
2000年代	
2000年(平成12年)	四川トヨタ自動車有限公司(現 四川一汽豊田汽車有限公司)生産開始
2002年(平成14年)	人材育成機関「トヨタインスティテュート」設立 自動車レースの最高峰、F1へ参戦
2005年(平成17年)	チェコでPSAプジョー・シトロエンとの合併会社(TPCA)生産開始 日本国内に「レクサス」を導入



A1型試作乗用車



拳母工場生産ライン



対米輸出第1号のクラウン



初代カローラ



ハイブリッド車、初代「プリウス」



国内生産累計1億台を達成